

# 平成22年度全国高体連自転車競技専門部 第3回理事会議事録

期日 平成22年12月4日～5日

会場 福井県立春江工業高等学校  
(福井県坂井市春江町)

- 1 部長挨拶 高松 彰
- 2 議長選出 恒例により部長が担当
- 3 議 題

## (1) 平成22年度全国高校選抜自転車競技大会事前協議及び実施要項について

(理事長・総務・技術審判)

ア 事前協議の事務分担が承認された。

イ 実施要項の以下の変更について承認された。

- ①受付・監督会議が菊鹿公民館に変更
- ②ロードレースの距離 男子9km×10周=90km 女子9km×4周=36km
- ③ロードレースのスタートが9時に変更
- ④参加資格の別途に定める規定の追加
- ⑤女子の総合成績に伴う参加制限
- ⑥参加料の振込先の変更
- ⑦ロード会場の宿泊について

詳細は実施要項を参照

## (2) 秋田インターハイの進捗状況及びロード規制等について

(総務)

- ア 開会式・監督会議会場が美郷町総合体育館に変更
- イ ロードレースが湖畔4周回となり、距離が95.2kmに変更
- ウ スタートが7時に変更
- エ インターハイのブロック別参加制限について

以上が承認された。

## (3) 規約改正について

(総務)

- ア 平成23年度の規約第2条の事務局所在地を香川県立高松工芸高校に変更
- イ 全国高体連本部から指摘された第4条(3)及び(5)を削除する。

以上が承認された。

## (4) 総務部会に広報担当の新設について

(総務)

- ア 開催地と報道関係との事前調整、大会中の報道関係の対応、選手へのインタビュー等報道関係の規制を担当する。
- イ 報道関係に係る申し合わせ事項について

以上が承認された。

- (5) 強化部会の廃止と普及育成部会の創設について (理事長)
- ア 今までの経緯から、ジュニア強化についてはJ C Fを中心に実施し、強化部会を廃止する。
- イ 自転車競技の普及発展を図るため、普及育成部会を創設する。
- 以上が承認された。
- (6) 第3回全日本ステージレースについて (理事長)
- 大会要項に記載の、各ブロックからの参加チーム数を厳守することを条件に継続実施する。ブロックからの参加チーム数に不足が生じた場合は、他ブロックから補充する。
- 以上が承認された。
- (7) 練習時の安全対策について (理事長)
- 最近の自転車事故の判例から、高体連自転車競技専門部としても早急に練習時の安全対策を講じる。特に公道での練習時は、ヘルム、リフレクタ、ライト等を必ず装着させる。
- 以上が承認された。
- (8) ホームページのバナー広告について (理事長)
- 本専門部のHPにバナー広告の募集を載せる。
- 大会協賛のビットリア、キャッツアイ、OGKを載せる。さらに、賛助会員の募集を載せる。
- 以上が承認された。
- (9) 本専門部選出のJ C F評議員の増員について (理事長)
- 8月にJ C Fに対し、高体連選出評議員数を1名から3名に増員の申請をしたが、却下された。今後も、学連と実業団と連携し増員要求を継続する。
- 以上が承認された。
- (10) ユニフォームの登録申請について (総務)
- 新加盟校の顧問から、ユニフォームの製作に関して数々の質問が寄せられている現状から、2月の委員長会議で以下の説明をする。
1. 学校名を必ず入れること。
  2. 都道府県名・メーカーのロゴ・学校のマーク等は許容する。
  3. 疑問に思うことは、ユニフォームを製作する前に、総務部会長に写真を送付して相談すること。
- (11) 役員改選について (総務)
- 選挙管理委員会が発足し、予定どおり2月の全国専門委員長会議で投開票を実施する。

## 6 報告事項

- (1) JCF関係について (理事長)  
JCF連盟の現状、23年度公益補助要望、補助方針について説明があった。
- (2) 平成22年度全国高体連加盟団体長会・専門部長・委員長合同会議について (理事長)  
全国高校総体開催基準の変更、及びゼッケンスポンサーについての説明があった。  
全国選抜大会のゼッケンスポンサーを「梅丹」に依頼中
- (3) 第2回全日本ステージレースについて (理事長)  
結果報告があった。
- (4) 2010年第16回日韓対抗学生自転車競技大会について (理事長)  
結果報告があった。
- (5) 平成24年度全国高校総体自転車競技大会(新潟)会場視察について (理事長)  
ロードコースは、国体で実施した三国川ダム周辺道路1周12kmで実施する。
- (6) インターハイの標準タイム(1kmTT・3kmIP・TP・TS)の見直し及び500mバンクでの  
チームスプリント(250m×3名)の標準タイムについて (技術審判)  
2月初旬の選抜大会のプログラム編成会議で検討し、2月の全国委員長会議で提案する。
- (7) 賛助会員の募集について (事務局)